

真野の子ども



2021. 10. 1 発行

10月は「いじめ防止月間」！

(いじめ未然防止の取組)

大津市の小中学校では、6月と10月を「いじめ防止啓発月間」とし、重点的にいじめの起こらない学校、学級づくりに取り組んでいます。真野小学校でも、この期間はどの子の笑顔も輝き、その笑顔があふれる学校にするために、以下のような内容を各学年の発達段階に合わせて取り組んでいきます。

①スマイルアンケートの実施(全学年)

一人ひとりにアンケートをとり、子ども達の様子や思いを把握することに努めます。また、クラスマネジメントシートによる児童理解も行います。

*クラスマネジメントシートとは → 学級の状態、個々の児童の思いをアンケート形式で調査し、表やグラフなどで客観化し、児童理解を一層、深めるもの。(6月・11月実施)

② 一人ひとりの子どもとの面談の実施 ～教育相談週間～

上記のスマイルアンケートを実施した後、子ども達が楽しく学校生活を送ることができているか、担任が子ども一人ひとりと面談を持ち、アンケートで気になった点や、アンケートでは書けなかった「心の声」を聴くように努めています。また、担任以外の教員とも気軽に話せる場をつくっていきます。

1学期に続き、11日(月)、12日(火)、14日(木)、15日(金)、19日(火)の計5日間を教育相談週間とし、2～6年生児童は、全校5時間下校の中、地区ごとに日を設定し、6時間目を利用して、担任と面談を行います。お子さんの日程については、各担任よりお知らせがありますので、ご確認ください。(1年生は5時間目までの時間に実施します。)

③ 「いじめ・人権・友情・親切」等を題材とした道徳授業の実施

命がかけがえのないものであることを再認識し、自他の命を尊重する気持ちを育てます。これを機会に、地域やご家庭でも子ども達の様子を気にかけていただけると幸いです。地域の皆様と共に、子ども達が安全に安心して成長できる真野学区にしたいと願っています。